

令和5年2月26日(日)
株式会社トライアーティスト代表取締役
竹内 鉄平さん

～まつさか香肌峡トレイルラン試走会を終えて～

令和5年度本大会開催を目指す「まつさか香肌峡トレイルラン」試走会が、松阪市飯高町で開催されました。

このイベントは松阪市職員 @yuito.mori さんのアイデアから生まれたもので、地元の方々が中心となって作り上げることを目指す大会です。

今回は定員 50 名でのテストイベント、試走会ということでしたが、交通規制、タイム計測あり、表彰ありという大変豪華極まるイベントでした。

自分は監修・アドバイザーを務めさせて頂き、昨年夏前から何度も現地でコース視察・試走を行い、今回のコース設計のアドバイスをさせて頂きました。

コンセプトは、「まつさか香肌峡イレブンを舞台に、トレイル初心者から経験者まで、誰もが楽しめ、地域の方々に応援してもらえる歴史文化を感じられるコース」です。

まずスタートして 5km は自転車ロードレースのプロローグ(パレード走行)をイメージし、飯高町の歴史を感じるウォーキングコースにもなっている櫛田川に沿った旧和歌山街道の珍布峠、礫石などの旧跡・名所を駆け抜けます。

ここには神話の時代、天照大神(アマテラスオオカミ)と天児屋根命(アメノコヤネノミコト)が偶然出逢い、石を川に投げて笹舟が止まったところを大和と伊勢の国境にしたという国分け伝説が残る場所です。

茶畑に囲まれた集落を抜けるので、選手と地元の方距離が近く、選手と地域の方が交流を図ることができるだけでなく、いきなりトレイルに入らないので、集団もバラけて渋滞の回避にも繋がります。

更にそこから局ヶ岳登山口まで約 3km もロード区間ですが、徐々に勾配が厳しくなり、これからアタックする局ヶ岳の急峻さが伺うことができます。怪力専故の足跡が残る岩、局ヶ岳神社などもあり、非常に飯高情緒溢れる景観を楽しむことができます。

そして、待ちに待ったトレイルパートに入ります。ここからは、森の中を約1kmで500mup、勾配50%のバーティカルトレイルになります。ここはコースの目玉でもあり、経験者でもかなり過酷なのはお分かり頂けるでしょう。

そして、山頂手前の分岐で下りパートに入ります。細かく蛇行する登山道を下るので、足への負担はかなり大きく、テクニックも要求されます。スキルの差がつきやすいパートになります。

そして一旦林道に出るとそこにはエイドステーションが設置され、温かい声援とおもてなしを受けることができます。

ラストは林道から再びトレイル「里山遊歩道」に入ります。緩やかにアップダウンを繰り返しながら走りやすいパートです。スタート・ゴール地点である宮前小学校まで降りていきます。スピード感溢れる疾走区間を最後に持つことで、気持ちよくフィニッシュすることができます。

15kmのショートコースで、トレイル率的には45%程度でありながら、トップが1時間40分、最後尾で2時間50分と走り応えのあるコースです。自分は今回テールエンダーを務めましたが、試走会に参加された皆さん全員が笑顔で無事にフィニッシュでき、大成功であったと思います。

アフターレースも充実しています。道の駅には天然温泉と地元のグルメを楽しめるレストラン、お土産屋もあり、スポーツツーリズムとしても最適なエリアです。レース後に立ち寄ったパワースポット、水屋神社には樹齢1000年の大楠が本殿の裏にあり、それだけでも訪れる価値はあります。

今回の経験、反省を生かしつつ、来年度本大会に向けて更にパワーアップした大会へと成長していくはずです。「まつさか香肌峡トレイルラン」、人気大会になるはず。今回4日で試走会の定員50名が埋まってしまいました。参加したくても参加できなかった方もみえるかと思いますが、ぜひ本大会に注目、参加をお待ちしています！

試走会にご協力くださった選手の皆様、運営スタッフ、ボランティアの皆様、お疲れさまでした！